

2019 年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 2 月 4 日作成)

小委員会名	軽鋼構造設計施工指針改定小委員会		主 査 名：竹内 徹
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鋼構造運営委員会)		委員長名：塩原 等 主 査 名：井戸田秀樹
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2023 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p> 本会「軽鋼構造設計施工指針・同解説」は1985年に「薄板鋼構造計算・設計施工規準・同解説」の改定を期に現在の形で整備され、2002年にSI単位系に改正された後、永らくそのままの形で出版されてきた。その後の建築基準法関連の告示改定等により、本指針の規定範囲がそのまま建築構造物として関連法規を満足していない部分も生じている一方で実務設計界の需要はまだまだ高く、今でも年に数件は適用可否や設計式の考え方等に対し質疑が寄せられる状況である。また近年、より薄い鋼板を利用した薄板軽量形鋼造建築物の構法開発も進んでいる。そこで、1985年以降の新しい知見や各種法規定を反映させた改定を行い、軽微な鋼構造物設計の需要に応えたい。 </p> <p> 初年度：指針全体の現状の位置づけを確認し、各章の執筆担当者を決定するとともにおおまかな改定方針を議論する。 </p> <p> 2年度：各担当者が中心となって具体的な原稿案の執筆を行い、必要に応じ検討事項の調査研究を行う。 </p> <p> 3年度：各現行案を相互査読し、小委員会としての改定指針現行案を作成する。 </p> <p> 4年度：PD等を通じて意見を収集するとともに鋼構造委員会ならびに構造本委員会の査読を受け、改定指針の出版を目指す。 </p>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：竹内 徹 (東京工業大学) 幹事：五十嵐規矩夫 (東京工業大学) 委員：小野 徹郎 (名古屋工業大学名誉教授) 佐藤 篤司 (名古屋工業大学) 佐藤 公亮 (東北大学) 藤内 繁明 (日本製鉄) 増田 浩志 (宇都宮大学) 松井 良太 (北海道大学) 吉田 文久 (大和ハウス工業)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2019年度予算	470,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 初年度となる2019年度は、指針全体の現状の位置づけを確認し、各章の執筆担当者を決定するとともにおおまかな改定方針を議論し確定した。 2. 2020年度は各担当者が中心となって具体的な原稿案の執筆を行い、必要に応じ検討事項の調査研究を行い、2021年度での原稿案作成を目指す。
委員会活動の問題点 ・ 課題	無